

【5】インシデント事例からの注意喚起

2012年4月の院内インシデント報告事例の中から、医薬品を安全に使用するために注意すべき事例などを挙げています。

錠剤・カプセル剤の経管投与について

内服薬の経管投与を行う際には、チューブの閉塞を避けるために、一旦粉砕して投与したり、簡易懸濁法を利用します。

当院では、粉砕可能な薬剤であっても、散剤や液剤等の経管投与により適している剤形を有する内服薬に関しては、粉砕指示入力ができないようなシステムになっています。今回は、当院採用の他の剤形を有する内服薬でも、薬剤の特性から粉砕可能な薬剤を紹介します。一時的な経管投与の際などに参考にしてください。

アリセプトD錠	口腔内で速やかに崩壊する製剤のため粉砕することに意味は無いが、粉砕は可能 (アリセプト細粒があります)
オゼックス錠	粉砕可能 (オゼックス細粒があります)
オノンカプセル	脱カプセル可能 (オノンドライシロップがあります)
クラリス錠	苦味はあるが、安定性に問題は無いため粉砕可能 (クラリシッドドライシロップがあります)
ザジテンカプセル	粉砕可能 (ザジテンドライシロップがあります)
サワシリンカプセル	特異な臭いはあるが粉砕可能 (サワシリン細粒があります)
セルシン錠	粉砕可能 (セルシン散・セルシンシロップがあります)
セレネース錠	粉砕可能 (セレネース細粒・セレネース液があります)
チラーヂンS錠	光により徐々に着色するため遮光保存が必要であるが、粉砕は可能 (チラーヂンS1万倍散があります)
プレドニン錠	苦味はあるが、安定性に問題は無いため粉砕可能 (プレドニゾン散があります)
ペルサンチン錠	粉砕可能だが防湿保存が必要 (アンギナール散があります)
マグミット錠	速崩性の錠剤のため粉砕の必要は無いが、粉砕は可能 (酸化マグネシウムがあります)

ムコソルバン錠	粉碎可能 (ムコサールドライシロップ・ムコソルバンシロップがあります)
メイアクトMS錠	苦味はあるが、安定性に問題は無いため粉碎可能 (メイアクト小児用細粒があります)
ユナシン錠	粉碎可能。ただし、吸湿性が強く、苦味もあり (ユナシン細粒があります)
リザベンカプセル	粉碎は可能だが光に対して不安定なため遮光保存が必要 (リザベンドライシロップがあります)